no.137
昭和55年 3/1
アミューズメント通信

ゲームマシン

GAME MACHINE
Semi-monthly Publication
AMUSEMENT PRESS INC.
9-16, kamiyamacho, kitaku, OSAKA 530

MARCH 1, 1980　発行所 アミューズメント通信社　編集・発行人 赤木真澄　大阪市北区神山町9-16（山名ビル）〒530 ☎06(314)0309　郵便振替 大阪307852 年間購読料(送料共)7,200円

優良機製造8社表彰

JOU 定例総会開催

役員改選により新たに宇島、松本両氏が理事

日本娯楽機械オペレーター協同組合（事務局＝東京都渋谷区渋谷三の六の二、第二矢木ビル、☎四〇九―五二三二、内田博理事長、組合員数四十一社、略称ＪＯＵ）は、第七回通常総会を、二月十五日、熱海のホテル・ニューアカオにて開催、ＪＯＵが選んだ「昭和五十四年度優秀機械」のメーカーに対する表彰式も併せて行なわれた。

総会では①五十四年度事業報告と決算報告が行なわれ、インベーダーブームの影響で共同購入取扱い高が記録的な数字となったこと、警視庁、青少年育成国民会議など関係官庁、諸団体との会合をはじめ、青少年非行防止対策を進めたことなどが確認された。②五十五年度事業計画と予算については、今年度は特に「子どもたちにとって健全なゲーム場が必要」という内容のＰＴＡなど教育関係者むけのＰＲを積極的に行なうこと、また第三回「中国友好訪問」を実施し青少年の課外活動や遊びについて視察調査することなどが決まった。

③同組合では今回役員改選が行なわれ、指名推薦により、全員一致で次のとおり役員が決まった。

理事長＝内田博氏（㈱友栄）。理事＝真鍋勝紀氏（㈱シグマ）、高畑吉秀氏（㈱日高商会）、吉川正明氏（㈱三栄商会）、西沢全氏（中央娯楽）、森田寛正氏（㈱モリタ）、宇島準一氏（㈱トニー）、松本昭夫氏（㈲タイガーレジャー）。

監事＝高柳孝一氏（㈱プラザース商会）、若田部元幸氏（サクラ娯楽㈱）。

なお加茂飛智男氏（㈲東横娯楽）は相談役。

今回の改選では河合久雄氏（㈱マル三商会）と加茂桂氏（㈲東名遊園）が理事を辞任、新たに宇島氏と松本氏が選ばれたことになる。また副理事長と専務理事は未決定。

事務局長は、従来森田理事が兼任していたが、原田弘氏を新たに任命した。

セガ社小形部長(右)に表彰楯を贈るＪＯＵ内田博理事長(左)

表彰を受けた（手前左から右へ）セガ社小形部長、こまや・尾上専務、東娯・須田部長、ホープ・矢野部長、ナムコ・市瀬課長、関西精機・古川氏、サン電子・前田社長

上の写真は表彰式を終え、共同購入対象の機械説明を受けているようす

優秀マシンは10機種に 今年は特別優秀賞なし

優秀機械メーカーの表彰は、㈱セガ・エンタープライゼス（ヘッドオン、モナコＧＰ）、㈱ナムコ（サブマリン、ギャラクシアン）、㈱関西精機製作所（ザ・ドライバー）、㈱ホープ（ロンドンバス）、㈲こまや製作所（くるくるアタック）、東洋娯楽機㈱（スペース・ジャンボ）、サン電子㈱（第三惑星）、㈱三共（デュエット）に対して行なわれ、表彰楯がそれぞれ贈られた。

会合では、このほか持ち込まれた機械の紹介、メーカーとの質疑討論があり、引続き開かれた懇親会でも活発な意見交換が行なわれた。

耐用年数短縮など要望

九州AM協会が総会（1／24）で決議

九州地区を中心としたオペレーターの親睦会合「九州アミューズメント協会」（理事長＝津末武久氏・大鵬物産㈱、会員二十七社）では一月二十四日、宮崎のホテル・フェニックスにて定例総会を開催し、今年度方針などについて話合ったほか、インベーダーブームを経て起ってきた諸問題に対する解決策として、大要次の点について決議を採択した。

(1) メーカーに対する要望事項

①ゲーム機などの価格の正常化を図ること

②長年にわたる取引ルートを尊重すること

③TVゲーム機で流行変化が早くなっていることから、機械販売条件を調整すること

(2) 業界全般に対する要望事項

①歩率による不正競争を防止すること

②機械の減価償却耐用年数を短縮できるよう運動を推進すること

③ギャンブルなどの違法行為の防止に努力すること。

会員数184社に

JAA、総会直前に十社加入

全日本遊園協会（JAA）では、二月二十一日の総会開催にむけて、次のとおり一月二十八日付で六社、二月二十一日付で四社の計十社の入会を認めた。これにより現在会員数は百八十四社となった。

一月二十八日付＝①㈱名豊商事＝東京都台東区東上野三の十の四、ムラゼンビル、☎八三三―四八九一、高梨政己社長、②岐阜特機㈱＝岐阜市大普二の七十八の二、☎（〇五八二）五一―〇八六一、真鍋巧社長、③サミー工業㈱＝東京都中央区日本橋三の二の十六、マスヤビル、☎二八一―六六五五、里見治社長、④㈲相馬企業＝東京都世田谷区喜多見八の二の二、☎四一七―一〇六一、相馬哲社長、⑤ダイサン商事㈱＝東京都豊島区東池袋四の二十三の六、ドミー池袋、☎九八八―五三五五、矢野俊一社長、⑥ミクマ産業㈱＝大阪市都島区東野田四の四の三、☎三五四―〇二二三、西川賢造社長。

二月二十一日付＝①㈱日光堂＝大阪市生野区新今里五の七の六、☎七五一―五〇三一、高城喜三郎社長、②㈱ダイワ貿易＝旭川市東光十一条三、☎（〇一六六）三二―〇五〇五、田中亀雄社長、③ホクセイ商事㈱＝福岡市中央区草香江二の五の十九、若狭ビル、☎（〇九二）七一二―〇四〇〇、高山輝美社長、④㈱池田製作所＝兵庫県尼崎市潮江字明治二の一、☎（〇六）四二六―〇四〇八、池田幸信社長。

越智氏（セガ社技術部）出演

NHK教育TV（1/31）

NHK教育テレビの、一月三十一日午後八時からの番組「現代社会のしくみ＝八〇年代企業の条件・技術開発のゆくえ」で、㈱セガ・エンタープライゼスの越智止戈之助技術開発本部長が登場し、話題となった。

この番組はエレクトロニクスの中核として、またあらゆる装置の頭脳として注目されている超LSIや超LSI技術研究組合での取材を中心に、今や世界一になろうとしている日本の電子技術が産業構造や企業活動にどう影響を与えていくか、をテーマにしたもの。

同番組で越智部長は、最近のTVゲーム機の加速度的な進歩ぶりを説明し、将来にわたる無限の"遊び"の可能性を、サンプルを例にしながら紹介した。

海外4社と提携

任天堂レジャーが「シェリフ」で

山内社長

任天堂レジャーシステム㈱（本社＝東京都千代田区神田須田町一の二十二、☎二五四―一六四七、山内溥社長）ではこのほど、同社ならびに任天堂㈱（本社京都、山内溥社長）によるTVゲーム機「シェリフ」について、海外での展開の大筋を明らかにした。

それによると米国では昨年秋からエキシディ社に対し製造許諾（製品名「バンディッド」アップライト）を行なっているほか、同社の家庭用と業務用TVゲーム機の両方に関して五月に米国法人を設立、米国でのノックダウン生産に乗り出す予定である。

ヨーロッパ市場については、英国ではロンドンコイン社、西ドイツではグリンキー社、ベネルックス三国ではベルギー・アミューズメント社（ベルギー）と提携、製品として「シェリフ」を輸出している。

AMOAグランガー氏会見記

毎年10名を改選

改選理事三十名、事務官十八名

昨年AMOAエキスポでのJAA山本専務とAMOAグランガー専務との会見で明らかになったAMOAの主な状況は次のとおり。

AMOAの理事は三年任期で、毎年三分の一づつ選出される。理事になるには少なくとも会員五社からの推薦を必要とする。理事は計三十名でこの中から会長一名、副会長十一名（専従一名を含む）が選ばれる。会長は毎年交代していき、会長だった者は五年間「旧会長会」のメンバーとして助言を与える。こうした「旧会長会」五名などを含めた事務官十八名と理事三十名を合わせて四十八名がAMOA役員会を構成している。

各州ごとにMOAに相当する組織があるが、AMOAはそれら州MOAの上部組織ではなく、あくまでも独自の全米（国際組織）である。

ゲーム機と電気との関係からして気になるところであるが、電気用品取締法に相当するものは各州で異なっており、従ってAMOAとしては具体的な対策はない。

AMOAエキスポでの出展については、前年の出展社に優先権を与え、小間があけば詰めていくという方法。出展ルールに違反した出展社には警告を与えるほか、程度により撤去、次年度出展禁止などの処置がとられている。

神戸博の「ポートピアランド」建設を開始

直営10機種明らかに

既報のとおり来年三月二十日から百八十日間、「ポートピア81（神戸ポートアイランド博覧会）」が開催される予定で、これと同時に遊園地が開設されることになっているが、遊園地についてはすでに名称も決まり、一月二十三日には着工式が行なわれた。

遊園地（レジャーランド）の名称は正式に「神戸ポートピアランド」と決まり、帆船を浮かばせた池を中心に各種の大型遊戯施設、ゲームコーナーなどが設置される予定だ。総面積は約四万七千平方㍍、そのうち中央の海水池は六千三百平方㍍。

同遊園地を経営する阪急電鉄㈱では「在来遊園地とはひと味異なるエキゾチックなもの」をめざしており、一年後の完成が楽しみである。

買いとりの主な大型遊戯施設は次のとおり。

(1) 二層式メリーゴーランド（明昌特殊産業㈱）＝回転舞台が二階建てになっており、それぞれで四十数基の造形馬と数基の馬車が上下する。建物は宮殿風に装飾され豪華さが特徴。

(2) リバーボート（三精輸送機㈱）＝滝をながめながら11㍍の高さの岩の上から最高時速35キロ㍍で急流をすべり降りる。

(3) ダブルループコースター（同）＝地上30㍍の高さから、時速80キロ㍍の高速で、ループを二回連続回転して突走る。西ドイツのシュワルツコフ社製。

(4) ジャイアントホイール（泉陽興業）＝ホイールの直径が61㍍と世界最大の大観覧車で、地上からの最高高さは63・5㍍にもなり神戸市内はもちろん大阪湾まで一望できる、

(5) ダッジェムカー（明昌特殊産業㈱）＝二人用三輪スクーター。アクセルを踏み込むだけで子どもでも運転できる。衝突しても安全なので逆にそれを楽しめる。イタリアのソリー社製。

(6) パシフィック・エキスプレス"スプリンター"（同）＝8の字のコース上の各所にタイヤがあり、それの回転によって押し出されて走る自走式ローラーコースター。オランダのJ・バッカーデニス社製。

(7) ウェイブスインガー（同）＝四十八台の一人乗りチェアーが高さ7・4㍍から2㍍の間を上下しながら波打つように回転する。西ドイツのJ・ジーラー社製。

(8) スイングアラウンド（ミゼッティ工業㈱）＝二人乗りのゴンドラが十四本のアームに各一台づつついており、上下しながら振り回されるように回転する。西ドイツのフス社製。

(9) ポリプ（明昌特殊産業㈱）＝二人乗りの乗り物が五本のアームに四台づつついており、アームの光で乗り物が回転し、さらにアーム自体が上下しながら回る。オランダのJ・バッカーデニス社製。

(10) バイキング（同）＝最大振角度六十四度に達する振子運動により、乗客に無重力感を与えるボートスタイルの大型ブランコ。西ドイツのJ・ジーラー社製。

また委託営業の主な大型遊戯施設は次のとおり。

(1) エアファイター（泉陽興業㈱）＝アームについた宇宙船が上下しながら回り、機銃を操作して前方の機体を撃墜することができる。

(2) タガダ（三精輸送機㈱）＝大きな円の中に円周に背をつけるようにイスが置いてあり、全体が波うつように回転する。イタリアのSDC社製。

(3) ジャンプライド（㈱岡本製作所）＝オートバイがジャンプをしながら回る。

(4) スペースライド（同）

(5) マジックハウス（同）

(6) シネマ2000（明昌特殊産業㈱）＝百八十度の湾曲スクリーンと六チャンネル音響が特徴。観客は画面との一体感を味わえる。

その他シューティングギャラリー、ファンハウス、ゲームコーナー、小型乗物機ではバッテリーカーなどを設置の予定である。

上の写真は「ポートピアランド」の完成予想図

ヤコブ副社長に

ユニバーサルUSAが任命

㈱ユニバーサル（本社＝栃木県小山市、岡田和生社長）の米国支社、ユニバーサルUSA（本社＝カリフォルニア州ハリウッド、ジョン・ノムラ社長）ではこのほど、もとエキシディ社副社長のポール・ヤコブ氏を筆頭副社長に任命した。ヤコブ氏は、米国でのユニバ[illegible]るほか、ヨーロッパでのマーケティングにも加わることになっている。

なおヨーロッパではロンドンにユニバーサルの事務所（ジョン・バトレー所長）があり、エレクトロコイン社などの代理店に対する活動を行なっている。

欧州2カ国許諾

ナムコ、「ギャラクシアン」で

㈱ナムコ（本社東京、中村雅哉社長）では、同「ギャラクシアン」の海外での提携先は米国ミッドウェー社[illegible]国についても同様に製造許諾したことをこのほど明らかにした。

英国＝ベルフルーツ社が製造、ロンドンコイン社が発売。イタリア＝ザッカリア社とベルトリーノ社の二社が製造、発売。

なおベルフルーツ社は製品名「ギャラクシアン」で、ザッカリア社は「ギャラクシア」となっている。またミッドウェー社を含め、これらの「ギャラクシアン」はゲーム内容においてスピードなど[illegible]

アタリ社製品の日本での販売は セガ、タイトーに

アタリジャパンは目下係争中

米国アタリ社（本社カリフォルニア州サニーベイル、リプキン社長）製品の日本でのディストリビューターは、従来アタリジャパン㈱（本社東京、中村雅哉社長）のみだったが、昨年九月以来㈱セガ・エンタープライゼスと㈱タイトーを加えて現在三社となっていること

このうちアタリ・ジャパンは、いわば独占的だった契約内容の続行を主張し、米国アタリ社を相手どって提訴中であり、従ってアタリ社製品はセガ社とタイトーの二社が目下のところ日本では、競合しながらも実質的なディストリビューターとなっていることになる。

日本バーリー電子倒産

TVゲーム機メーカー、日本バーリー電子機器㈱「本社大阪、山木政雄社長）が一月三十一日、二月一日に第一勧銀天六支店で二度不渡り手形を出し、倒産した。

同社は四十九年設立、バリー社はスロットの輸入を手がけた後、パチンコ店経営へと転じ、五十二年さらにTVゲーム機メーカーへ進み、拡大を続けたが"インベーダー後"の状況変化に対応できず行き詰ったもの。同社製品では「バーリー・インベーダー」、「キャプテン・スタントマン」、「赤いキツネ」がある。

負債は約四億円とされているが、債権者など詳細は明らかにされていない。また、よく誤解されるが、同社は㈱バリー・ジャパン（本社東京、ロス・シェアー社長、シカゴ本社のバリー社の日本支社）とはまったく無関係の会社であった。

＊　＊　＊

なお既報分以外の主な業者倒産で、民間の興信所などによる判明分は次のとおり。

近江電子工業㈱（本社滋賀県高島郡今津町、田頭亮一社長）は一月二十四日、大津地裁に会社整理の申請を行なった。四十六年設立、最近はインベーダーほかの娯楽機械の電子部品製造に携っていたが、ブーム後は業績が悪化したもの。負債約一億九千万円。

パブコ機器㈱（本社大阪府羽曳野市、北村英三社長）は二月十日、二度目の不渡りを出した。同社は五十一年設立、大阪パシフィックベンディング㈱の製造部門を担当する小会社で親会社（大阪パブコ）倒産で行詰り。負債約一億円とのこと。

柴田社長 細井常務

レジャック、役員異動

電光点滅式ゲーム機とTVゲーム機のメーカーであるレジャック㈱（本社大阪）では二月四日の株主総会ならびに取締役会により、柴田登茂三氏が新たに代表取締役（社長）に就任するとともに、それまで社長だった細井久平氏を販売担当の取締役常務に選任した。

同社では昨年八月に株式を大幅異動し、細井氏が社長となっていた。なお製造部門はコナミ工業㈱（本社大阪、上月景正社長）が担当している。

ツムラ業務、引継ぎ

トランス・ワールドが新装披露

㈱ツムラ（本社大阪、津村三百次社長）は既報のとおり休業したが、関連会社のトランス・ワールド商事㈱が次のとおり新内容となるとともに㈱ツムラの業務を引継ぐことになった。

トランス・ワールド商事㈱＝大阪市城東区野江三の二十七の十、☎九三四―九一七一。

会長＝津村三百次氏、社長＝田中久子氏、営業部長＝高井一秀氏。

なお二月十三日、同社においてこれらの異動内容発表を兼ねて、同社ショールームの披露会が開かれ、関係業者などが参集した。

論潮

テレビの悪影響

少年犯罪は戦後第三のピークを迎えていると言われるほどだが、家庭のテレビではなんと一日平均で殺人が九十件、婦女暴行が四件、暴行傷害が四十六件も画面に出ている（日本フィールドアスレチック協会「テレビドラマ等における犯罪行為調査報告書」）そうである。昨年八月二十日から一ヵ月間、NHK、民放計六局の放映内容で、ドラマやマンガに出てくる「犯罪」件数（もしくは人数）を数えあげた結果こういう数字が出てきたというわけである。

それでなくとも犯罪のヒントをテレビドラマから得た例などは多く、この調査結果からすればテレビ放送は犯罪を誘発するところが多い、と言われても仕方ないと考えられる。つまり家庭でテレビを見ていることは、およそ日常的だし、その限りにおいて犯罪に（自分が直接関わっていないとしても）知らず知らずのうちに慣れてしまっているならば、これほど恐しいことはない。

しかしながらテレビと放送が犯罪を誘発することがあるとしても、だからと言ってすべてのテレビ放送がそうであるわけではないし、また犯罪場面が画面に出たところでフィクション（仮構）でしかない、また犯罪誘発を目的としたものではなく犯罪をなくすことを目的としている場合のほうが多い……など一概に「テレビの悪影響」ばかりを決めつけて論じることはおかしいと思われる。

「テレビの悪影響」に負けないことが、子どもを含めた視聴者たちに必要なことであり、放送する側にはそれなりの配慮が必要と言うべきであろう。露骨さやキワドサなどを売りものにしてしか視聴率を稼げないようなものは、およそ放送に携わる資格なしと言えるわけだ。

テレビ放送の果してきた役割は大きく、今後も人間生活に占める位置は重要になっていくだろうが、以上のような考えかたや当事者の関係についてでは、テレビだけでなく私たちの業界についても言えることと思える。

事務所移転

㈱ジャパン・プライズマシン＝盛岡市城西町三の五、☎（〇一九六）五四―一二六一。

㈱シグマSD事業部＝東京都渋谷区宇田川町十三の十一、☎四九六―七九三一。

ダイサン商事㈱＝東京都豊島区東池袋四の二十三の六、ドミー池袋、☎九八八―五三五五。

㈲ショウエイ販売＝府中市府中町三の一―五〇一の八、☎（〇四二三）六六―二六六三。

玉福産業㈱＝京都市南区久世東土川町三三〇の八、☎（〇七五）九三二―三四〇〇、橋本頼松社長。

㈱関西ウコー＝大阪市西区本田一の八の十五、生起ビル、☎五八一―八六七三、鞭木立行社長。

名古屋ジューク㈱＝名古屋市天白区天白町島田曲尺手三二六六、☎（〇五二）八〇四―〇七五五、小川正宏社長。

訂正

前号「ギャラクシアンゲーム機総覧」で、ナムコの「ギャラクシアン」アップライト型の定価は正しくは、六十四万円でした。謹んで訂正いたします。

ジュークボックスによる ベストヒット10（セガ社提供）

順位	曲名	レーベル	演奏者
1	異邦人	CBSソニー	久保田早紀
2	大都会	アードバーク	クリスタルキング
3	SACHIKO	エピック	ばんばひろふみ
4	TOKIO	ポリドール	沢田研二
5	愛染橋	CBSソニー	山口百恵
6	よせばいいのに	キャニオン	ハッピー&ブルー
7	おまえとふたり	ミノルフォン	五木ひろし
8	秋止符	エキスプレス	アリス
9	安奈	エキスプレス	甲斐バンド
10	とまり木	ワーナー	小林幸子

全国地区：1月20日～2月2日の2週間

★ATE'80★ATE'80★

拡大するTV機市場

日本製ゲームは世界の中心に

ATEの出展内容は大ざっぱに言うと、①欧米のフリッパー、TVゲーム機などのアーケードマシン、②欧米の乗物機、③イギリスのAWP（アミューズメント・ウィズ・プライズ）などの風営ギャンブル機械、④その他パーツ、景品類などに区分されるが、出展の実態となるとこれらが混合して出品される例が多いので、初めて来た人などはまず面喰ってしまう。

ATEでは、機械の販売を主としているディストリビューターの力が強いのが特徴で、メーカー出展よりディストリビューター出展のほうが、どうしても目立つ。これは風営ギャンブルものを除いてみると、フリッパーやTVゲーム機など進んだ開発力を必要とする分野では、地元メーカーはさほど強くないためである。

さらに英国を中心とするディストリビューターたちは、同一メーカー品についても多重的に取扱い品目を増やす傾向があって、A社はB社の、そしてB社はC社の……と取扱いが連らなっており、出品されたものを見ただけでは、まずどういうルートでそこに置かれているか容易にわかるものではない。つまり機種分類が判然としないうえに、販売経路の迷路のような状態が加わり、各大手ディストリビューターのブース（小間）はまさに混沌とした状態で展開されていることになる。

混迷続ける販路

アーケード分野では、従って、米国のフリッパー、TVゲーム機がここ数年間ATEの中心となってきたが、昨年のタイトー「スペース・インベーダー」人気以来、いよいよ日本のTVゲーム機が勢いを増し、米国フリッパーすら押えて、一躍ATEのトップスターとなった。

圧倒的支持を受けている「スペース・インベーダー（パートIIも）」、最も大きな期待を寄せられているナムコ「ギャラクシアン」、そしてがっちりと支持を固めているセガ社「モナコGP」、任天堂「シェリフ」、データイースト「アストロファイター」。これらはオリジナル機、業務提携（製造許諾）機、そして（ものによっては）各種コピー機までくっつけて人気を盛りあげた。またユニバーサル「コスミック・ゲリラ」、日本物産「ローリング・クラッシュ」など[illegible]それぞれ[illegible]実に人気を得ていた。こうした観点から見る限りAMOAの実績を上回って日本製TVゲームが世界のTVゲーム市場の主役となってしまっており、ようやくこれに米国アタリ社、エキシディ社の両巨頭がついてきているような印象すらある。

さて日本製TVゲーム機は、以上にとどまらず、どう見てもルール違反としか言えない出品物から早い話が中途半端な改造品まであって、これらはいくら日本でのTVゲーム機の市場が低迷しているとは言え、およそ感心しないものと言えよう。

しかし一方では、日本製TVゲームのほとんどすべての機種がATEで紹介されたことにより、日本の業界の力をいかんなく発揮したと言えないこともない。それほどまで[illegible]日本製TVゲームのラッシュであった。

堅調なエレメカ機

そのほかのアーケード分野では、ヨーロッパ製フリッパーがいぜん努力を続けているものの米国製にはかなわないようすである。ユニバーサルのTVつきフリッパーは、AMOA、IMAそしてATEと出品され注目を集めている。

アーケード分野でもエレメカ機では、TVゲームほどの異常さはないため（コピーされ難い）、関西精機製作所「カリブの海賊」やナムコ「ゼロイン」などが正規のルートで出品され、正常なふんいきの中で高い評価を得ていた。

遊園機械や乗物機の出展者を集めたパームコートでは、今回はとくにシューティング・ギャラリーが注目され、一方の乗物機分野ではコースつきの小型バイク「ドロモ・バイク」（モデルコイン社）や、起重式の怪人乗物機「ゴールドレイク」（トーマス社）など、少しずつ発展してきているようである。

勢いない風営機

英国の伝統を誇るAWP、クラブマシンなどでは、マネープッシャー機でクロムプトン社が新製品「ムーンレイカー」を発表したほか、フルーツマシン（要するに英国風スロットマシン）で電光点滅の導入が盛んになってきているのが注目される。またペイアウトの有無にかかわらず、カードゲームを中心としたTVゲーム機も盛んになってきている。特異な例として、TVフルーツマシンを出品したパークレスト社などは注目されるべきだろう。しかしこれらの風営ギャンブルものは、派手なTVゲーム機の現状と比べると、かなりの前進ぶりがあるにもかかわらず、およそ勢いらしい勢いがない。それは純粋な〝遊び〟への志向がすでに世界的に高まっており、しかも見返りを必要としないところまできていることを意味している。

英国でのロケーションをすべて見たわけではないが、ソーホー歓楽街などのゲーム場では、やはり日本製TVゲームに客がついていても、フルーツマシン、マネープッシャーにはついていなかった。また現地の人から聞いた話では、TVゲームブームについて英国国営放送BBC1がTV番組で特集を組んだそうである。そして、米国の大手輸出業者であるベラム社が「英国がこれほどテーブル型TVゲーム機を必要としているとは信じられない」と言うほど、アップライトのみならずテーブル型にも人気が出てきているのが現状である。

全体には拡大へ

いささか複雑でわかりにくい展示会となった今回のATEショーではあるが、ヨーロッパ最大のAMショーであるため、そして急速にヨーロッパではTVゲーム機の市場が拡大してきているため、会場は以前にも増して窮屈となり、場内温度も上がりっぱなしとなった。

これ以上TVゲーム機の市場は拡大するのか、と考えるとなにか知ら恐ろしい感じさえしてくる。

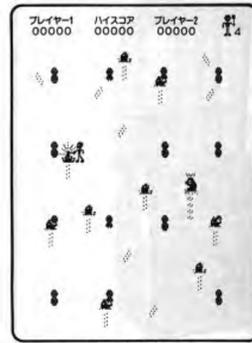
ロンドンコイン社の小間にて（左から右へ）ナムコアメリカ・中島社長、エキシディ社・ジンター営業部長、ナムコ・中村社長。ナムコ製品は「キューティQ」までを展開した。

バリー社の小間にてミッドウェー製「ギャラクシアン」を背に（左から右へ）ミッドウェー社・ジャロキー副社長、ナムコアメリカ・中島社長、ブターニ副社長ら。

ATE初日の夜、インターコンチホテルで開かれたバリー社パーティーにて（左から右へ）ビデオゲームス社・ベーリー会長、R＆D社・コバ・ミサコ氏、エスコ貿易・森社長

タイトーの小間にてコーガン社長。アップライトは「ルナレスキュー」まで、テーブル型は「オズマウォーズ」まで最新TVゲーム機をズラリ出品して、〝世界のタイトー〟を強調。

アルカ社の小間にて（左から右へ）エスコ貿易・森社長、セガ社・中山副社長、ブラウ副社長。セガ社系最新TVゲームを網羅し、アップライトの「ドラキュラ」も出品、注目を浴びた。

ミュラーメック社（西独）の小間にて旭精工・安部社長（左）と英国ミュラー社・エリック・ローズ社長。コインメック分野ではパテントなどに基づく業務提携が常識とされている。

★ATE'80★ATE'80★ATE'80★ATE'80★ATE'80★

TVゲーム

それでも盛んな新ゲームへの意欲

ザッカリア社「ギャラクシア」（許諾品）

オリジナル、許諾果てはコピー改造

重複は避けたいが日本からのTVゲームは（先に掲げたほか）、セガ社では「ディープ・スキャン」、「ヘッドオンII」、「カーハント」など、タイトーでは「フィールドゴール」、「スペースチェイサー」、「スーパースピードレース（Vも）」、「サファリラリー」、「スペースレーザー」など、ナムコでは「キューティQ」のほか「SOSゲーム」、任天堂は「スペースランチャー」、「スペースフィーバー」、ユニバーサルは「ギャラクシー・ウォーズ」、シグマは「悟空」、「ラマンチャ」、データイーストは「モウルハンター」、「イーグル」、豊栄産業では「メテオ」、日本物産は「ムーンレーカー」など。その他どういうことか、「キャプテンスタントマン」なども出品されており、インベーダーやヘッドオンやギャラクシアンもいろいろと（どうも日本からいらしい）出品されていた。以上日本からの

ベルフルーツ社の小間にて、同社は英国での唯一の許諾品の「ギャラクシアン」のメーカー

TVゲームを全部見終ったことにしないと、欧米のTVゲームに移ることができない。

欧米のTVゲーム機で注目すべきものは次のとおりである。

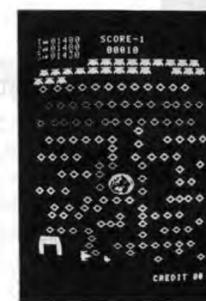
①　エキシディ社「テールガンナー2」＝ベクタービーム社取得後の記念的な機械。スィットダウン式。なおアタリ社「アステロイド」はATEでも高い評価を受けた。

②　モデルレーシング社（イタリア）「スーパーショット」＝次々と場面の変化していくTVガンゲーム（白黒）。またTVドライブ「スーパーロード・チャンピオン」も味がよいと評判。

③　西ドイツ製（メーカー名不明）「ニューブルグリンク3」＝TVドライブゲーム機だが、けっこう運転が難しい。

④　ザッカリア社（イタリア）「シーバトル」＝TV海戦ゲームだが、波の動きなど細部にわたって仕上がりがよい。

これらのアーケードTVゲーム機のほか、トランスワールド・ゲーム社（英国）のサッカーゲーム「ゴールマイン」などのギャンブルもの、そしてカードゲームを織り込んだ各種ギャンブル機も盛んだった。

インベーダー、ヘッドオン、ギャラクシアンなどのコピー（と思われる）ものは、欧米製にも多く、はては基板改造や、キャビネット販売なども紹介されるほど。製品の形でなくとも、なんとでもなるということですら今や世界的となったわけである。

日本からの独立した出展小間としてはタイトーのみ。他社ではすべて現地の出展社を通じて出品したことになる。

西ドイツ製「ニューブルグリンク3」は、モニター部分がきわめて薄く、この点だけでも注目されよう

ザッカリア社（イタリア）の「シーバトル」シットダウン式。アソシエーテッドレジャー社（英国）の小間にて

注目されるTVガンゲーム機「スーパーショット」、モデルレーシング社（イタリア）の小間にて

なんと降下中は目玉だけになるギャラクシアンの「ギャラクトロン」（右）を出品したジューテル社（フランス）の小間

怪しげな「ギャラクシー」（左）や「スカイインベーダー」（右）を披露するルネ・ピネール社（フランス）の小間

データイーストが「アストロファイター」の許諾を認めたビデオゲームス社（西独）の小間のようす

ロンドンコイン社は許諾品の「ギャラクシアン」の発売元。また任天堂、データイースト社製品の英国で唯一の指定販売会社

★ATE'80★ATE'80★ATE'80★ATE'80★ATE'80★

Amusement Trades Exhition Layout

EXHIBITOR LIST - ATE 1980

Exhibitor	Stand
A.1 Sotres	A.1
Abloy Locking Devices	F.18
Academy Signs	W. 10 & F.35
Ace Coin Equipment	B.1, 2, 9, 10
Alca Electronics	K. 1-7
Amusement Equipment	L.1-10
Appliance Components	E.8
Ardac	F.2
Aristocrat Automatic (Sales)	G.7-9
Artisair	A.6
Associated Leisure Seels	D.1-10
Autorovo Automaten	PCt. 18
Aydown	F.20, 21
BG Video	A.Rm. 5
BAFCO	PCt. 25
Balchin & Son	A.Rm. 7
Bally International Sales	B.6, 7
Barcrest	Q.1, 2, 7, 8
Bectron Models	PCt. 7
Belam R. H.	D.1a
Bell Fruit Manufacturing	H.1-7
Bossom's Boatyard	PCt. 3
Bristol Coin Equip	N.1, 2, 9, 10
Bryans Works	F.1
C.R. Vending and Electronics	V.31
C. T. Leisure (Leicester)	X.3, 4, 5
Camlock Distribution	V.18
Canvas Covers	PCt. 16
Century Electronics	E.4
Cherry Leisure (UK)	T.3-8
Chicago Automatic Supply Group	W.7
Claremont Automatics	E.10, 11
Coin Controls	W.9
Coin Operated Amusements	A.Rm. 14
Coin Operated Parts Service	Q.3–6
Coin check Amusements	A.Rm. 6
Competitive Video	W.1
Computer Art	V.17
Controlboats	PCt. 12
Crompton Alfred	M.1, 2, 3, 8, 9, 10
De La Rue Crosfiled	A.Rm. 21
Direct Machine Distributors	U.1-10
EFS Automatics	V.16
Electrocoin Automatics	A.Rm. 17, 18, 19, 22, 23, 24
Elektro Mobiltechnik	PCt. 23
Emmastar	A.Rm. 9
Eurocoin	F.22, 23
Feeley Brian	A.Rm. 4
FP Imports	V.1, 2
Fine Fabrics	X.6
Fort Knox Floor Safes	F.25
G. B. Cutlery	V.3, 4
Games Manufacturing	F.30-32
Gayton Games	W.8
Glenvil Group	V.7
Global Amusement Models	A.Rm. 11
Godiva Coin Equipment	X.20
Gowerpoint Manufacturing	E.1, 2, 3
Hazelgrove Music	W.3, 4, 5
Hornsea Manufacturing	X.9, 10, 11
Hustler Pool Tables (UK)	O.2
ICC Machines	N.7, 8
Imagine Transfers	V.14, 15
International Fun (UK)	PCt. 25, 26
JM Kiddie Rides	W.2
JPM (Automatic Machines)	O.3-8
JSK Electronics	E.5
Jeutel	A.Rm. 8
Jezzard Dennis (Coinmatics)	B.3, 8
Joyland Amusements (NI)	X.24, 25
Kando Floss Sales	V.12, 13
Laren for Music	N.5, 6
Lawler AJ (Electronics)	V.29
Lockmasters	V.24
London Coin Machines	C.1-10
Loewen Automaten	T.1, 2, 9, 10
Lucky Toys	A.Rm. 13
Lyngard Automatics (Mfg)	G.1, 2, 3
Major Matics	F.14-17
Malaguti	PCt. 17
Marian Electronics	A.7, 8, 9
Mar-Matic Sales	O.1 and 10
Mayfield Diamond Electronics	J.3-6
Maygay Machines	J.1, 2, 7, 8
M.D.M. Coin Sales	X.18, 19
Mellors J H	X.7, 8
Mirco Games	O.9
Model Coin	X21, 22, 23
Model Racing	V.26-28
Modern Products (Lindsey)	PCt. 19
Mullermechs	F.11
Music Hire Group	S.1-10
NGZ(UK) Currency Systems	A.Rm. 15
Noble Barry (Coin Machines)	V.8, 9, 10, 11
Nodor Scores	A.Rm. 10
Omser	V5, 6
Perks H.A. (Sales)	F.3, 4
Perks W and Sons	PCt. 4
Pierre Rene	M.4-7
Pinfari F. lli	PCt. 7
Pintable Resotreres and Designs (Crembond)	A.Rm. 3
Playmatic	E.6, 7
Playmeter Promotions	B.1a
Playsafe	PCt. 10
Pleasure and Leisure Inflatables	PCt. 21
Portobello Printers	F.10
Powerson Holdings	F.26
Quintin Flynn	F.27, 28
Ramtek	V19, 20
Raydee Electronics	V25
Recel	V.21, 22, 23
Remo Leisure	PCt. 14
Reverchon	PCt. 11
Robinson Partners (London)	A.5
Ruffler & Deith	Stage and W.6
S.D.C. Organisation	PCt. 15
Saint Ron Organisation	X.26-28
Samson Novelty	A.4
Sarmtern Ltd & Wizard Electrical Mfg	G.4, 5, 6
Scott Tod Developments	F.19
Screenprint Plus (Winterton)	A.Rm. 20
Shefras Philip (Sales)	P.1-4
Showrides (R G Mitchell Group)	PCt. 1
Singh Sons (London)	V.30
Smith H F	PCt. 2
Sound Leisure	F.12, 13
Sparkworth	PCt. 20
Standard Coin Counting	E.9
Starpoint Electrics	A.Rm. 16
Star Scrolls (UK)	A.Rm. 12
Streets Automatic Machines	P.5-8
Subelectro	A.2, 3
Supa-Bounce Inflatables	PCt. 22
Supercar Co (Coventry)	PCt. 13
Surrey Automatics	F.33, 34
Taito	B.4, 5
Thomas Automatics	R.1-10
Thompson Edward Group	X.13-16
Tim Tod Abergavenny	F.24
Tinsley Thos, and Son	X.1, 2
Tornado Model Products	PCt. 24
Trans World Gaming	A.Rm. 1, 2
Triangle Amusements	PCt. 6
Variety Markets	X.12
Vegas Signs	F.29
Video Games	N.3
Video Games (UK)	N.4
Wamstar Int.	PCt. 5
Whittaker Bros (Amusement Rides)	F.5, 6, 7, 8, 9
W.S.G. Operating	D.1b
Worlds Fair	Dressing Room
Zaccaria Filli	X.17
Antonio Zamperla	PCt. 9

★ATE'80★ATE'80★ATE'80★ATE'80★ATE'80★

フリッパー

限界に挑戦

エレクトロコイン社の小間にてフリッパー「ハーレム・キャット」を説明するユニバーサル・岡田社長。コスミックシリーズでは「ゲリラ」、「エイリアン」までを出品。

米国フリッパーは、バリー社「グランド・シェーカー」、ゴットリーブ社「トーチ」、スターン社「ビッグゲーム」などAMOA以後の最新機種が紹介された。しかし、（日本は論外として）従来フリッパーが基本であった欧米の市場で、堅調だったフリッパーの売り上げにカゲリが見受けられる。「もうフリッパーではどうにもならない」という業者が結構増えてきたのである。これは新しい市場を確立してきたTVゲームに、ゲーム機のありかたとして中心的な位置が移っており、今や多少のイノベーション（新規開発性）を加えようと、もはや大きな川のような業界の移り変りにフリッパーはついていくのが精一杯という状態になってしまっていることを意味している。

それでもヨーロッパのフリッパーメーカーの開発意欲には注目されるものがある。たとえばプレイマチック社（スペイン）は、ウィリアムズ社「ゴーガー」に挑んで〝しゃべるフリッパー〟「イーブル・ファイト」を発表し、リセル社（スペイン）はバックガラス部分とプレイフィールド部のデザインを独自のアートワークで統一させた「ブラックマジック」を発表した。このほかザッカリア社（イタリア）は本格的フリッパー「ファイアー・マウンテン」を出品したが、総じて電子回路方式が当然となっている以上、プレイフィールドの完成度も高くなれば、あとはいったい何をすればよいか――という問いに対する答がそういう形で出されていることになる。

バリー社最新フリッパー「グランド・シェーカー」

プレイマチック社の小間にて、中央に「イーブル・ファイト」、左右にはおなじみの「スーパーツィン」などの電子回路ビンゴ。

リセル社の小間の全景。右から左へ「フリッパーゲーム」、カーレースを組み込んだ「フォーミュラー1」、「ブラックマジック」。

リセル社「フリッパーゲーム」。独特のデザインが注目されるところだ。

★ATE'80★ATE'80★ATE'80★ATE'80★ATE'80★

シーシー、ノンノン ギャラクシアン

萩原　敞　(㈱シグマ 商品部長)

ATE会場、バリー社の小間にて（左から右へ）シグマの萩原部長、バリー・ディストリビューティング社のマーロン・バーバー社長、バリー社のロス・シェアー部長

「ユー!! シーシー、ノン、ノン、ギャラクシアン!?」。通りすがりにいきなり声をかけられた。ATEショー第二日目、午後三時すぎの冬のロンドンはもうたそがれ時。振り返ると、私と同じようなスモークド眼鏡をかけ、手には小型スーツケース、もう一方の手にはガイドブック、レインコートのえりを立て、たった今到着したといういでたちの小柄な男が、一生懸命なにやら言いたげなふう。

「ユー、タイトー? ユニバーサル? ニチブーツ? ユー、データ?」なんのことやらさっぱりわからない。胸には「オーバシーズ」のバッジ、名前も社名も記入はない。どうやら私を日本人と見通して、「ギャラクシアン」のことを問うているらしい。なぜか、ナムコやセガの社名が出てこない。相像するにギャラクシアンを見たい、あるいは買いたい、ということらしい。英語がまるで通じないあたりはイタリアの田舎から来たように見える。私はガイドブックのマップに、ここでギャラクシアンが見られるというところに二、三、印をつけてあげた。ナムコ、あるいはミッドウェイのオリジナルの「ギャラクシアン」が展示してあったスタンドをである。

彼が会場に入り、私に会うまでに通って来た両側にそのスタンドはあったはずだが(我々日本人には容易にそのTVゲーム機は識別できる。第一あの耳慣れた音が聞こえないはずがないからだ)。昨年十月の「JAAショー」、十一月の米国「AMOAショー」、この二つの世界的展示会であまりにも有名になった「ギャラクシアン」はただ、うわさの機械、幻のゲームとしてイタリアの片田舎にまで名前が言い伝えられたに違いない。今、世界で最もナウなゲームにこれから対面する。彼はそれをこそ見るために旅行者にとって世界一物価の高い都、ロンドンへ来たに相違ない。彼が無事「ギャラクシアン」にめぐり合ったか、満足したか、そして買ったか否か、私は知るよしもない。

いまや花盛り

今、ヨーロッパはイギリスを中心にインベーダーゲームがブームだと聞く。我国では不幸にして(?)昨七月を境にインベーダーは去った。今回のATEショーは、日本より一年遅れでインベーダーゲームが花盛りだ。ご本家タイトー、ミッドウェーの製品の他に、日本製、ヨーロッパ製、立型、日本式テーブル等々、とり混ぜて幾種類のインベーダーゲームが氾濫していたことになろう。併せて、最もナウな「ギャラクシアン」はオリジナルに加えて、怪しげな動き方をするまがいものを含めて数多くが展示されていた。会場はピョン、ピョンに混って「ヒュールルル」で大合唱。

数年前のATEショーはクロンプトン社をはじめとした英国固有の「プッシャー」や「フルーツマシン」(クラブマシン)、それに「カードビンゴ」などが展示会の中心であったように記憶する。もちろんこうした英国メーカーは今回もきちんと彼らなりに展示している。米国AMOAであれだけあおられたフリッパーも、乗物もまるで影がうすい。まさにインベーダーとギャラクシアンの渦と化していた(もちろん「モナコGP」やエキシディ「テールガンナーII」、アタリ「アステロイド」などの新製品も展示され、それなりに人気は高かったわけだけれど)。

考えてみると、インベーダーはタイトーが、「ギャラクシアン」はナムコがといずれも日本のメーカーのオリジナル製品である。ここ二、三年、東京の「JAAショー」は世界三大ショーに列挙されるようになった。ただそれはショーにとどまらず、TVゲームの世界を席巻し、今や世界の覇者にのし上ってしまった。まさにそれは私自身の実感であった。ひょっとしたら思い上りかもしれないけれどという不安は残るが。ある日本人の見学者は「もはや外国に学ぶものはない」と断言していた。

アミューズメントマシンは米国で生まれ育ったはずだ。今、日本経済と同じように追いつき追いこしたという実感が、彼にそう言わしめたのであろう。コンピューターという電子技術産業が、今や日本が決して世界に劣らないという実状を踏まえての成果に他あるまい。

果してこれで

しかし果たしてこれでよいものか。世界一すぐれたゲーム機を作る力がある日本。しかしこれで果たしてよいものか。日本中にあふれたインベーダーの傷あとがふと私の記憶を横切る。新しいTVゲームの商品寿命が三、六ヶ月という途方もなく短かいものに変ってしまった。オペレーターは現状を維持するために永遠に機械を買い続けなくてはならない現実を一体どう受けとめるのか。もちろんすぐれたTVゲームは必要だが、もしかして私たちの商売の本質はいかにオペレーションすべきかということではなかったろうか。一泊五十五ポンドもする世界一高い都ロンドンのホテルのベッドに横になってもなぜか寝つかれない。もしかして私自身が「シー、シー、ノンノン、ギャラクシアン」になったのでは。

剣戟の世界をドラマチックに！
いまマルチフェイズ・ゲームの鮮烈なる変貌。

"コッパ役人ども、どこからでもかかって来い、返り討ちだ"

SAMURAI

手裏剣をかわし、カギ縄、クギ棒をかいくぐり、サムライは役人の中に敢然と躍り込んで行った……まれにみる豊かなゲームストーリー、新鮮な迫力。エレクトロニクス技術と時代劇が見事に一体化したTVゲームの新機軸。

〒95－1724

セガ・モナコ・グランプリ
レースのスリル、スピード、そして興奮をそのままゲームに。臨場感あふれるステレオ・サウンド。キャビネットも従来にない斬新なデザイン。

〒95－1829

セガ・モナコ・グランプリ・テーブルタイプ
遊びやすさを追求したユニークなスタイル。テーブル化によるデメリットを完全に解消したモナコGPテーブル版。

〒91－15516

セガ・サムライ・アップライト・タイプ
手に汗にぎるサムライと役人の対決。大型の画面で迫力も倍増。ディスプレイ効果も抜群。

〒91－14047

SEGA　株式会社 セガ・エンタープライゼス

本　社　東京都大田区羽田1－2－12　電話 03(742)3171(大代表)
関西支店　大阪府豊中市豊南町東2－5－3　電話 06(334)5331(代表)
博多支店　福岡県福岡市中央区白金2－5－15　電話092(522)4715(代表)
札幌支店　札幌市豊平区豊平五条3－80－14　電話011(841)0248(代表)

視点新たに出発の空間

アステロイド
◎宇宙船で流星とUFOを破壊する。（危険脱出HYPERSPACEボタン）

アストロ・ファイター
◎隕石をよけ、UFOを攻撃してブラックホールを脱出して宇宙要塞を撃破する。凄絶な戦い！カラフルな色彩 宇宙戦争の決定版。

テイルガンナー
◎敵機3機編隊撃墜すると1機分得点加算されます。バリヤーボタンで防げます。使用時間画面中央上部に表示されます。

ムーンランダー
◎着陸船を操縦して月面着陸。倍数が点滅する場所に着陸すると点数倍の得点が加えられる。

進展

悟空
◎キント雲に乗った悟空を、鬼をかわしながら天竺に進めます。頭脳プレイゲーム。

パラゴン
◎ワイドタイプの最新フリッパー

ギャラクシアン
銀河戦士！ エイリアンを撃破せよ

人気マシン次々と

ESCO TRADING CO.,INC.
株式会社 エスコ貿易

本　社　〒108 東京都港区三田3-5-16 TEL 03(455)6511(代)
大阪営業所　〒556 大阪市浪速区元町4-335 TEL 06(647)4455(代)
名古屋営業所　〒464 名古屋市千種区神田町4の5の2 TEL 052(732)2611(代)
品川工場（コーショービル3F）　〒140 東京都品川区東品川1-32-15 TEL 03(472)6405～6

国際化したアミューズメントニュース
INTERNATIONAL AMUSEMENT NEWS

海外の話題

マロフスキ社長に

ミッドウェー社、首脳陣大幅異動

マロフスキ社長

㈱タイトーからのライセンスを得て七八年十一月以来四万台もの「スペース・インベーダー」を製造し、記録的な営業成績を収めた米国のミッドウェー社（本社イリノイ州フランクリン・パーク）では、このほどさらなる大躍進をめざして経営スタッフの大幅異動が行なわれた。

その結果、同社の創設者であるヘンリー・ロス氏とマーシン・ウルバートン社長のふたりは同社顧問となり、デービット・マロフスキ副社長が同社社長となった。新社長は同社勤続二十年のベテランとのこと。

副社長にはエンジニア担当がマーチン・キーン氏、製造部門担当がポール・ベスパー氏、マーケティング担当がスタンリー・ジャロキー氏、財務担当がジャック・ハートマン氏となっている。

同社は一九五八年に設立され、六九年には全株式をバリー社に買いとられ、バリー系TVゲーム機メーカーとして歩んできた。現在従業員は千名以上となり、目下記録的な営業活動を続けている。

自社製品の発売に

タイトー・アメリカが開始

㈱タイトーの米国支社とも言うべき、タイトー・アメリカ（本社イリノイ州エルク・グローブ）は米国ミッドウェー社との連携を強めながらも、同社独自の観点から、このほど「スペース・インベーダー・パートII」テーブル型（カラー）の発表に踏みきった。

同ゲームのアップライトはミッドウェー社「デラックス・スペース・インベーダー」となっており、少し混乱しそうだが実際は混乱はなく、さらにタイトー・アメリカは「スペース・チェイサー」アップライトを二月から発売するとのこと。

Pick a theme, any theme!

Special Astro-Liner (Wisdom)
米国ウィズドム社のPRカットから、「アストロファイター」のバリエーション。テーマにそって各種デザイン可能。

大成功のIMA

国際的ショーとなった西独AM展

西ドイツ、フランクフルトで、一月十七日から三日間、開かれた西独IMA（国際自動機器展）は、九ヵ国からの百社の出展に対し、三十四ヵ国から五千八百人もの入場登録者があった。

これは速報で入ってきた数字であるが、入場登録者数の18％は、西独以外からであり、国際的展示会としての価値を高めることができたと主催者側のVDAI（西ドイツのコインマシンメーカーの団体）は大いに喜んでいる。

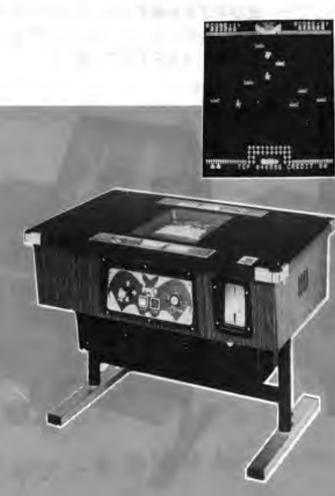
同展示会は、しかし自動販売機とアミューズメントマシンが混合で出品されるものであり、AMのみでない点が残念だが主催者側ではこの成功をもとに、従来は隔年開催だったが毎年開催とし、八一年は同じフランクフルトで開催する予定である。

なお業界筋によると西独ではおよそジュークボックスは八万五千台、風営ギャンブル機は十五万台、アーケードゲーム機は十七万台ほど設置運営されており、このうち風営ギャンブル機は毎年五万台が（法律に基づいて）買い替えられているとのことである。

ディズニーランドはことし 25周年記念

一昨年十一月はミッキーマウス50周年に沸いたディズニー・プロであるが、ことしカリフォルニア州アナハイムのディズニーランドは、一九五五年の開園以来25周年を迎え、一年間を通じて記念行事を繰り広げる。

開園当初の十年間は赤字が続き〝マネーランド〟の異名さえ与えられたが、その後順調に黒字経営を続け、今では世界的なアミューズメントパークの典型として大躍進を続けている。その後、同プロではこの成功を基本に、さらに大計画を進めるべく一九七一年にはフロリダ州オーランドにディズニーワールド（これはエピコット計画の一部分）をオープンさせたほどだ。

話題のマシン

「バルーン・ボンバー」に続く新ＴＶゲーム

スチール・ワーカー

タイトーから、フリッパー新作3点も発売

㈱タイトー（本社＝東京都千代田区平河町二の五の三、☎二六四―八六一一、コーガン社長）から、同社ＴＶ新ゲーム機「スチール・ワーカー」がこのほど発表となり、米国製フリッパー、バリー社「グローブトロッターズ」、ゴットリーブ社「ジェニー」、「ハルク」がそれぞれ発売となった。

スチール・ワーカー

鉄骨を選び、連結する!! 落ちないように逆戻りも

ＴＶゲーム機「スチール・ワーカー」は、カラー画面の左側の壁面から右壁面へと、鉄骨をうまく連結させてゆき、鉄骨上をたえず前へ進んでいく人物（ワークマン）をうまく運ぶもの。画面中央には鉄骨柱があって、ここでもたえず左右の鉄骨を上下動させている。

プレイヤーは、コントロールレバー操作で、画面下部にある各種鉄骨の中から必要なものを選びだし、ボタンで決定することにより、鉄骨を接続させていく。得点はひとつ鉄骨を連結するごとに五十点以上、無事渡しきるとボーナス得点となり、今度は逆方向にゲームスタートとなる。各ゲーム開始時の左右端の鉄骨の位置、中央の鉄骨の位置はランダムになっている。

ワークマンの進む速度に間に合わないと、落下してしまう。標準一ゲーム三人のワークマンで、三回落ちるとゲーム終了。そこで〝逆戻りボタン〟があり、これを押すと落下の危険から一時的に免がれることになる。ただし、この逆戻りボタンの使用は一ゲーム九回（切替可）までの制限つき。なお鉄骨の組み合わせはいろいろ可能だが一ゲーム最高十五本まで使用可能。

一定得点以上になるとワークマンが一人追加される。ハイスコアーなどの処理は同社方式による。

アップライト、テーブル型、そしてキット販売も含めて、二月下旬に発売の予定。価格未定。

ハーレム・グローブトロッターズ

ゴット初のワイド版登場 キャラクターもの新作2点

フリッパー新作三点については次のとおり。

バリー社製、電子回路方式の4P「ハーレム・グローブトロッターズ」は、超能力を持つ五人の黒人バスケットボール選手が次々と難事件を解決していく同名のＴＶ人気番組をテーマにしたもの。

プレイフィールド右上方には、奥へと四個並んだインライン・ドロップターゲットがあり、2倍、3倍、5倍とボーナスを増やすとともに、中央のGLOBEの文字を点灯していく。この奥のホールに二度ボールを入れるか、GLOBEの文字を二度点灯させるかすると再ゲーム。

上部中央のホールはちょうどバスケットに相当することになるが、ここに入るとGLOBEのいずれかの文字が点灯する。左側中央の五個のターゲットを全部点灯させたうえ、右側中央の奥まったターゲットに当てるとスペシャル。エキストラの場合もある。

定価七十二万円。

ジェニー

次にゴットリーブ社製電子回路方式4P「ジェニー」は、同社としては初のワイドフリッパーで同社お得意のフィーチャーが盛り沢山となっている。とくに左上部分が小さなフリッパーゲームとなっており、ダブルフリッパーがこの機種では〝ゲーム・イン・ゲーム〟という性格を与えられているのが最大の特徴。

ロールオーバー（四列）は同じものが左上の左中央の二ヵ所あり、エキストラのチャンスを生む。左上の赤色二色のドロップターゲットはエキストラとスペシャルのチャンスを。中央の星印のドロップターゲットは五倍までボーナスを増やす。

右上のキックアウトホール、さらにそこから右下へとボールは戻されるチャンスも。五個のフリッパーは、ボールの動きにそうよう配置されている。

多彩な電子音響効果も特徴。定価七十六万円。

ザ・インクレディブル・ハルク

「ザ・インクレディブル・ハルク」はゴットリーブ社製、電子回路方式の4Pで、同名のアメリカン・コミックをテーマにしたもの。すでにＴＶ番組化されており、日本でも放映されたりしている。主人公ハルクは普段は人間だが、不正その他にぶつかると信じられない（インクレディブル）力を持つ巨人に変身するというもの。フィールド下部左右にポケットがある。定価七十万円。

話題のマシン

ガイコツを掃滅

「与作」のオーエムが新ゲーム

㈱オーエム（本社＝兵庫県尼崎市大物町一の十九、☎〇六―四八七―〇〇七一、岡田正広社長）から、新ＴＶゲーム「ガイコツ999」（テーブル型）が発売されている。

これは画面の上下にいるガイコツからの攻撃を避けながら、中央のレール上にいる〝クルスシャトー〟がガイコツを全滅させるというゲーム。

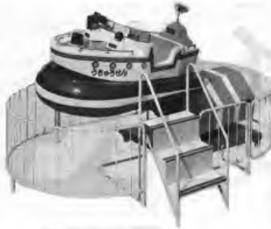
プレイヤーはコントロールボタン（四方向）操作により、上下のレール選択、左右の移動を行ない、ボタンで弾丸を発射する。ときどきガイコツの上あたりにUFOならぬ〝ドクロ〟が出現し、これが爆弾を落とすが、これがレールに当たるとレールが破損し〝シャトー〟がそこから先に進めなくなる。落ちてしまう前に爆弾に弾丸を当てると止めることができる。

ガイコツは三部分から成り立っており、得点は足二十点、胴三十点、頭四十点、〝ドクロ〟は〇点から三千点のミステリー。一ゲーム三基で、五千点以上一基追加、九九九〇点で再ゲーム。

定価六十五万円。

ガイコツ 999

うちゅうせん

日興精機から「ジープ」も

うちゅうせん

日興精機㈱（本社＝大阪府松原市立部二の五の十八、☎〇七二三―三七―〇五九〇、山口松太郎社長）から、二人用定置型乗物機「うちゅうせん」と「ジープ」が発売されている。

「うちゅうせん」は、赤と黄の暖色を基調にカラフルにデザインされた宇宙船が、上下、左右へと変化のある動作をするもの。

電子音と動作により宇宙旅行のムードを与えるというもので、横幅一・四㍍、奥行二・四㍍、高さ一・八㍍、上昇高さは三〇㌢。

定価七十万円。

ジープ

「ジープ」はこの種定置型の最大のポイントとも言える堅牢性を重視して作られたもので、故障などトラブルがきわめて少ないよう設計されている。

黄色、白色の二種あるが全体に明るいデザインとなっている。作動時のエンジン音、押しボタンによるクラクションつき。

定価五十万円。

なおいずれの機種も遊戯料金百円を基本としている。

1人用のテーブル

ショウエイによる「ランダー」

㈱ショウエイ（本社＝東京都府中市天神町四の三の九、☎〇四二三―六六―二六六四、多田洲郷社長）から、テーブルＴＶゲーム機「ムーン・ランダー」が発売された。

これはアタリ社「ルナランダー」とほとんど同じゲーム内容であるが、いわば対抗商品。モニターもXYでなく特殊なグラフィックを使用しているようで、アタリ製と比べると不鮮明な点がある。テーブル型だが1Pのみ。二人用ではない。

定価五十八万円。

ムーン・ランダー

動くぬいぐるみ

アイセルの「サファリーペット」

㈱アイセル商事（本社新潟、長沢道生社長）製造による乗物機「サファリー・ペット」が、㈱友栄（本社東京、☎二六三―九四二一、内田博社長）と泉陽興業㈱（本社大阪、☎六三二―一〇五一、山田三郎社長）との二社から販売となっている。

「サファリーペット」は高さ一・一㍍、長さ二㍍、幅〇・七四㍍の大きな動物のぬいぐるみで、バッテリーによって分速十五㍍の速度で歩くもの。ノッシ、ノッシと歩き回わるぬいぐるみの背中に乗れるというので、子どもたちは大喜こび。親子でも乗れるぐらいに座席部分は広く、のりごこちも満点。

座席カバーはワンタッチで取付可能で、ぬいぐるみはファスナーによって取外し可能となっており、汚れを落とすのも楽になっている。

パンダ、ライオン、トラ、クマ、ゾウの五種類あり、標準タイマーは九十秒の設定。

定価百八十五万円。

サファリー・ペット

話題のマシン

セガ社から初の時代ものTVゲーム
サムライ!!
フリッパーは「タイムワープ」「メテオ」

サムライ（テーブル）

タイムワープ

サムライ

メテオ

(株)セガ・エンタープライゼス（本社＝東京都大田区羽田一の二の十二、☎七四二―三一七一、ローゼン社長）から、同社TVゲーム機「サムライ」がこのほど新発売となったほか、フリッパーでは、ウィリアムズ社「タイムワープ」、スターン社「メテオ」がそれぞれ発売されている。

TVゲーム機「サムライ」は、昨年のAMショー参考出品の後、検討を加えていよいよ完成したもので、時代劇の"捕りもの"をテーマに、ストーリー性は一貫している。TV画面の左右には、捕り方の十手持ち"同心"十二名がおり、画面中央のサムライに向って攻めてくる。プレイヤーはレバーとボタンを操作してかかってくる役人を切り伏せていく。

同心を六人やっつけると与力（組頭）が登場、一回切ると倒れるが、また起き上がり再度切り倒す。さらに同心六人、与力二回切り倒すと一パターン終了。つまり一パターンで計四回の"一騎打ち"があるわけだ。

役人からの攻撃で十手などにサムライの体が触れると、サムライの負け。このほか画面上部からくる、忍者の投げつけた手裏剣やカギ縄、そして画面左右にあるクギ棒などもサムライを狙っているので、うまく交わしていかねばならない。

一ゲーム、サムライは三人（切替可）。得点は第一パターンで同心二十点、与力百点、ボーナス六百点、以下五パターンまで倍増していく。六ケタ表示。カタカナ表示。

刃を交える場面では、画面がフラッシュするのが見もの。

アップライト、テーブル型があるが定価未定。

次にフリッパーであるが、ウィリアムズ社製、電子回路方式4P「タイムワープ」は、過去と未来へと時間を越えての旅をテーマにしたもの。

好評のバナナ・フリッパーを装備、しかもジェット・バンパーは五個もついている。またボーナス倍率は、業界初の十倍まで。

フィールド上部のロールオーバー点灯後、右端に設けられた長いレーンを通って標的に当てるとスペシャルのチャンス。左側のドロップターゲットを落とし、上部のキックアウトホールを狙えばエキストラのチャンス。

同社独特のデュアル・サウンド効果もある。定価七十四万円。

スターン社製、電子回路方式4P「メテオ」は同名のSF映画をテーマにしたもの。宇宙の彼方からやってきた巨大な隕石が地球にあわや直撃!!という話。

プレイフィールド中央部が広く、従ってボールの動きが大きくなるが、上部のフリッパーを活用して、ドロップターゲットMETEORを落すことによって、スペシャル、エキストラのチャンスが生まれる。ボーナス得点があがるさまは、メテオを迎え撃つロケットとして描かれている。

定価七十四万円。

タスコのエアーアクションで
宇宙への旅

スペース・アドベンチャー

タスコ(株)（本社＝東京都文京区本駒込三の十七の二、☎八二七―六七四一、上原勝社長）から三十人乗りの大型定置式乗物機「スペース・アドベンチャー」が一月中旬より発売となっている。

同機は"円盤型UFO"の形で、大型特殊送風器を駆使したエアー・アクションマシン。機内はミニ映画館のようになっている。

乗客が客席（三十座席）に着くと出発のアナウンスとともに、機体が上下に揺れ動きだし、前方のスクリーンには、"銀河系脱出"の神秘的な宇宙空間の映像が映しだされ、4トラックの追力ある未来感覚の音響とあいまって、宇宙旅行の気分が満喫できるというもの。

外径七メートルで、スクリーンは高さ一・七メートル、幅二メートル。標準タイマーは二百十秒で設定。

テープ、フィルムは他に海底用、地底用などがあり、本体も上下の揺れ幅の少ない屋内用もある。

定価千八百五十万円。

総目録 No.13

本紙第130号～第134号の「話題のマシン」でとりあげたマシン総目録です。
配列については、❶フリッパー、❷TVゲーム機、❸その他アーケードゲーム機、❹メダルゲーム機、❺乗物機、❻ジュークボックス（カラオケジュークを含む）などに分類し、それぞれ掲載順となっております。社名（略称）のうしろの番号は掲載号の号数です。

モナコ・グランプリ
プレイヤーの車にライトがつくトンネルなどバラエティに富むコースが魅力のカラーTVドライブゲーム機。シットダウン式。定価125万円。【セガ社】No.130

パラゴン
米国バリー社製4Pの電子回路方式フリッパー。同社初のワイドフリッパーで、初のタテに並んだドロップターゲットもある。定価73万円。【タイトー】No.132

ピンボール・プール
米国ゴットリーブ社製4Pの電子回路方式フリッパー。プールテーブルをテーマに、ボーナス最高5倍まで。定価65万円。【タイトー】No.131

ギャラクシアン(テーブル)
前記「ギャラクシアン」のテーブル型。いずれもカラーモニター使用機だが、テーブル型は2人用で画面が反転する。定価58万円。【ナムコ】No.131

ギャラクシアン
新宇宙戦争TVゲーム。編隊で攻撃してくるエイリアンをギャラクシアンが迎撃するもの。鮮やかな画像と立体感で大迫力。定価64万円。【ナムコ】No.131

スペース・シップ
テーブルTVゲーム機で、内容は敵宇宙船を照準にとらえて撃破するもの。「スターファイアー」とほぼ同じ。天板に模様。定価74万円。【レジャック】No.130

ナイスオン
テーブルTVゲーム機で、画面内の飛行機から降下した飛行士を無事着地させるゲーム。「リップコード」とほぼ同じ。定価55万円。【データ】No.130

スペース・インベーダー・パートII　CL
同社「スペース・インベーダー・パートII」のカラー版アップライト機。定価70万円。【タイトー】No.130

スペシャル・デュアル　II
同社「ヘッドオンII」と新宇宙戦争ゲーム「インビンコ」の2ゲーム選択式テーブルTVゲーム機。同社デュアルのII型。定価62万円。【セガ社】No.130

ストレート・フラッシュ
ブロックゲームを基本とし、トランプ遊びを組み合わせたカラーTVゲーム機。途中に魔法使いが現われる。定価68万円。【タイトー】No.132

モウル・ハンター（テーブル）
同名機のテーブル型。定価55万円。【データ】No.131

モウル・ハンター
モグラ退治のTVゲーム版とも言えるゲーム内容。子モグラのほかに親モグラがいて、これは噛みついてくる。アップライト式定価68万円。【データ】No.131

アストロ・ファイター(テーブル)
同名機のテーブル型。定価55万円。【データ】No.131

アストロ・ファイター
次から次と迫ってくる宇宙船や隕石をかわしながら撃破していく新宇宙戦争ゲーム。カラーモニター使用。タイマーと持ち船制限。定価72万円。【データ】No.131

スペース・チェイサー
TTスペース・チェイサーのアップライト機。追撃してくる敵ミサイルを避けながらコース内のドットを消していく。定価70万円。【タイトー】No.131

カー・ハント
同社ヘッドオンの内容を高度化したもので、2種類の当り屋をかわしながらドットを消していくTVゲーム機。色彩が変化する。定価70万円。【セガ社】No.133

スペース・ウォー
テーブルTVゲームで、画面上下両方から攻撃し合う宇宙戦争となっている。1人用ではコンピューターが相手をする。定価48万円。【レジャック】No.132

コスミック・ゲリラ（テーブル）
前記コスミック・ゲリラのテーブル型。カラーモニター使用。定価58万円。【ユニバーサル】No.132

コスミック・ゲリラ
新タイプの宇宙戦争TVゲーム機。中央の砲を、左右からくるゲリラが持ち去る。ゲリラを下から攻撃していく。カラー版定価72万円。【ユニバーサル】No.132

レーザー・ウォーズ
シネマトロニクス社「スターホーク」の業務提携によるTVゲーム機。照準をセット、敵の宇宙船を撃破していく。定価68万円。【タイトー】No.132

TTストレート・フラッシュ
前記ストレート・フラッシュのテーブル型。数々のフィーチャーがあり、ゲーム終了時のエキストラチャンスもある。定価56万円。【タイトー】No.132

話題のマシン
（第130号～第134号）

与作
同名歌謡をテーマにしたカラーTVゲーム機。与作を操作し、ヘビや枝に当たらないようにしながら、木を切っていく。定価60万円。【新日本企画】No.133

モナコ・グランプリ・ミニ
同社モナコ・グランプリのアップライト・ミニ型。設置面積が少なくて済むが、内容は大型機と同じ。定価72万円。【セガ社】No.133

ルナ・ランダー
米国アタリ社製TVゲーム機。着陸船をうまく操縦して月面に安全に着地するようにする。逆噴射などがある。各種メーター付。定価98万円。【セガ社】No.133

ゼロイン
ジェット戦闘機をテーマに敵機を撃墜するというエレメカマシン。照準に入れミサイルを発射する。プロ用ボタンつき。定価82万円。【ナムコ】No.131

平安京エイリアン
東大生のアイデアによるTVゲーム機。画面中の人物を操作し穴を掘らせ、怪物を穴にとじ込めるもの。2人用では共同に。定価59万円。【電気音響】No.134

コスミック・エイリアン(テーブル)
前記コスミック・エイリアンのテーブル型。カラーモニター使用。定価58万円。【ユニバーサル】No.134

コスミック・エイリアン
宇宙戦争をテーマにしたカラーTVゲーム機。編隊を組んで攻撃してくるエイリアンを迎撃する。後方からも旋回。定価未定。【ユニバーサル】No.134

ワープ・ワン
サン電子製TV宇宙戦争ゲーム機。照準をセットして敵UFOとミサイルを撃破していく。リプレイ付。カラーモニター。定価55万円。【岐阜特機】No.134

サファリラリー
独自のTVドライブゲーム機。10列のコースがどんどん現われドットを消していく。途中の動物に当たるとミステリーなど。定価60万円。【新日本企画】No.133

パトロールカーDX
同記「パトロールカー」のデラックス型。前方の光景を楽しみながら乗ることができる。定価60万円。【加藤板金】No.130

パトロールカー
走行音に、日本と米国二ヵ国のサイレン音が加わった定置式乗物機。定価53万円。【加藤鈑金】No.130

カンカンポッポ
汽車と消防車がドーナツ状にくっついたまま回転する定置式。走行音、汽笛音つき。柵なしという点では画期的製品。定価70万円。【加藤鈑金】No.130

ジャンプアップII
同社「ジャンプアップ」のII型。デザインが新しくなり、内容もすこし高くなった。定価32万円。【こまや】No.131

ミサイルバリヤー
5つのコース上を点灯しながら攻めてくるまでにレバーとボタンで迎撃する。アーケードマシン。定価40万円。【こまや】No.131

クルクルアタック
3段階方式のパチンコゲーム機。それぞれのコースが渦巻状になっておりクルクル玉が回る。プライズマシン。定価30万円。【こまや】No.131

スカイ・ドルフィン
プロペラ飛行機をデザイン化した定置型小型乗物機。前後、左右の動作と電子音。定価50万円。【ホープ】No.132

サン・モリッツ
傾斜面を登っていくレール走行式乗物機。登山鉄道をテーマに15度の斜面を登る。20mレール標準で定価176万円。【ホープ】No.132

ロンドンバス（バッテリー）
新しく箱型になったバッテリーカー。童謡メロディつきで、大人と子どもの2人乗り。ボディは赤、青、黄の3色。定価45万円。【ホープ】No.130

ドレミファトレインDX
前記「ドレミファトレイン」のデラックス型。バックの光景が全体のふんいきを盛りあげる。定価60万円。【加藤鈑金】No.130

ドレミファトレイン
走行音に加わえ、1オクターブ分の音階がキーボードに組み込まれており自由にメロディを弾ける定置式乗物機。定価53万円。【加藤鈑金】No.130

アストロファイター　モウルハンター

あのモグラ叩きがTVになって新登場!!
コンピューターが泣く。笑う。
ユーモアあふれるコミックゲームの決定版!

①君はハンター。画面上を8方向（上下、左右、斜め）に動き、モグラを追いかける。
②ピーナッツ畑のモグラはピーナッツをかじろうと顔を出す。
③今だ! ボタンを押してモグラをたたく。ヒットすれば昇天さ!
④おっと危い。親モグラが近づいた。ピーナッツがないと噛まれるぞ!
⑤最後は親モグラとの一騎討! 素早く後にまわって、やっつける!

宇宙戦争ゲームの壮大なストーリー!!

①三角形に隊列を組んだ11機の敵機と交戦
②横2列に隊列を組んだ12機の敵機と交戦
③1機1機自由に襲いかかる12機の敵機と交戦
④縦1列編隊5列からなる15機の敵機と交戦
⑤以上を撃滅し、キングコア（敵の親）と一騎討
⑥キングコアを撃退し、燃料を補給…再びプレイ

新発売

●アストロファイターに限り
スペースファイター
インベーダーマークII
サターン3D型
ファントムFA型
イーグル
—改造実施中

豊かさを演出する、電子技術の
〒162 東京都新宿区余丁町109番地（高木ビル2F）電話（03）358-6581代

データイーストをささえる強力な販売網

ご用命は下記代理店へ……

株式会社 エスコ貿易
本社 東京都港区三田3−5−16 〒108 ☎03(455)6511代

株式会社 チェスト
本社 大阪市東淀川区南方1092−1 第2日大ビル708号 〒533 ☎06(325)3866代

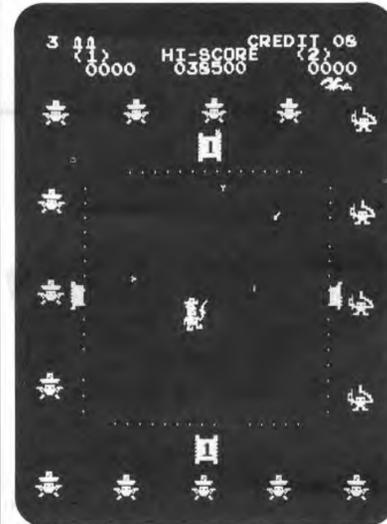
株式会社 チェスト福岡
福岡市博多区博多駅前3丁目3番12号 博多白水ビル5F 〒812 ☎092(474)0120

株式会社 デコ・札幌
札幌市中央区南二十一条西十二丁目879−15 〒064 ☎011(562)2415代

DECO KINA
株式会社 キナ
本社 東京都新宿区百人町1丁目19番2号 ユニオンビル3F 〒160 ☎03(365)5961

SHERIFF® シェリフ

話題独占。人気急上昇。

攻撃しながら迫ってくるならず者を撃ち倒し、レディを救い出すオリジナルゲーム、ここにデビュー!

PAT.P

スリルある大宇宙ゲームの決定版!

SPACE LAUNCHER

スペースランチャー

歯が崩れ、顔面が変わり、帽子が消える
コミカルな楽しいゲーム!

Monkey Magic

モンキーマジック

BOMB BEE-N
HEAD-ON-N
MARK II

★スペースフィーバーをハイスプリッターまたはスペースランチャーに改造いたします。改造費¥10,000（取付工賃別）
★スペースフィーバーをシェリフに改造いたします。ご希望の方は下記へご連絡下さい。

本社 〒101 東京都千代田区神田須田町1-22 TEL 03(254)1647
関西支社 〒542 大阪市南区長堀橋筋1丁目32 TEL 06(245)4155
京都営業所 〒605 京都市東山区福稲上高松町60 TEL 075(541)6111
名古屋営業所 〒451 名古屋市西区薮下町29番地 TEL 052(561)1685
岡山営業所 〒700 岡山市奉還町4丁目4番11号 TEL 0862(52)1821

連続SF―――㊷

希望（のぞみ）の島
―宇宙同時革命の結果―

有田佐市

情報（G）

宇宙新世紀人・イオータは、地球星ヤポン国の人たちが、年毎に宇宙新世紀の宇宙に似て荒涼としてくる風景の中で、鶏小屋そっくりの小さく区切られたマンションに住み、T・Vという窓からだけ見ることができる、新緑の野面をわたる微風、燦燦とふりそそぐ陽射しをうけてどこまでも澄みわたっている海などをたのしんでいる。あるいは書物の活字から、これも二次的なものに過ぎない幻想を髄脳のなかにむすばせることによって、実際には自分は何もしていない無為徒食の生活を送っているのにすぎないのに、結構何かを成し遂げたような気分になってしまうことに尽きない興味をもったようだ。

イオータは窖（あなぐら）のようなマンションの一室で本を読んでいる阿利田さんに合体した。

イオータにしてみれば、宇宙新世紀人が自分たちの手によっては殆んど新しく何かをつくることが出来ず、自分たちの行動によって涯しなく広大な宇宙に何ら新しい地平を切り拓くことが殆んど不可能な状態に置かれ、Z能力で出来ることは今まで宇宙で起きたことを精妙になぞるだけに殆んど限られているのが、この時期のヤポンの人たちの状態と本質的に酷似しているかのようにおもわれたのだ。

一年前の正月早早、阿利田さんは《血族》を読みだしたら、途中で止めることが出来ず、良心の呵責のようなものに苛（さいな）まれながらも、《血族》を読み続けて翌日欠勤してしまっていた。

今年は《鬼が来た》を読んでいるようだ。

一冊の本に入っている情報の量は馬鹿にならないほどこの近年膨脹（ぼうちょう）してきている。

ひょいと気がつけば

去年の夏、阿利田さんは《ヒューマン・ファクター》グレアム・グリーン著をみたとき、たまたまこの小説では本が重要な役割を果しているのでこの中で主人公に関連して登場した書籍を拾い（ひろ）あげ、その数に驚いた。

クラリッサ・ハーロウ
聖書
戦争と平和（登場する書籍の中ではこれが主役である）
トリスタン
アンナ・カレーニナ
若い女性のヌードを売り物の雑誌（プレイボーイは隣のお嬢さんのヌードを見せたのにたいしてペントハウスは街角の女性たちのある種の内臓を明らかにした）
特殊な嗜好者用の非公開本
ペンギンブック
エヴリマンライブラリー
ワールド・クラシック
レティフ・ド・ラ・ブルトンヌ（ムッシュー・ニコラの初版本、ロドカー版の限定本）
男子専科
ペントハウス
ジェイムズ・ボンドが出る本
洞窟の女王＝ライダー・ハガード著
禁制の書物
ポルノ小説
今の世に生きるには＝トロロープ著（登場人物はこの本の書評をニューステーツマンかエンカウンターかに投書するつもりである）
ラーンド・デイリー・メイル紙
デニーズ・ロビンズの小説（ペーパーバック）
数種の辞書
プレイボーイ
イヴニング・ニューズ
ブラウニングの詩集（小型本）
イアン・フレミングの小説（この人の小説すべてにボンドが出るわけでもなかろうとおもう。再掲のおそれを感じる人へ）
童謡集
女性雑誌
共産主義の教科書
共産党宣言
養老院長＝トロロープ著
バーチェスターの塔＝トロロープ著
緋色の装幀のレープ医学クラシック
グリーンの革表紙のエンサイクロペディア・ブリタニカの十一版本
ジョージェット・ヘイアーの小説本
イギリスの新聞（依怙地（いこじ）になってあげている）
英語の教科書版のシェイクスピア、ディケンズの小説（後者はオリヴァー・トウイストとハードタイムズ）
トム・ジョーンズ
ロビンソン・クルーソー
スターリン、レーニン、マルクス、エンゲルス等等の著書（トロッキーが出てこないのもグレアム・グリーンからのひとつのメッセージである）
スインバーンの詩
お庭の本（この本の中で子供が言うのだ、「お庭が出てくるのがいい」子供があってお庭がない阿利田さんはやはりこのあたり涙を泛べてしまう）

イオータもまたその数の多さに驚いた。これでは現実の風景が少少変化しようとなかなかそれと気づく暇もなかろう。

イオータは、はらはらしている。今、今年の正月早々、阿利田さんは《鬼が来た》長部日出雄著を読み出して、またまた途中で止める気を失くしてしまったようだ。

「いいかげんに止めて寝なさい明日の勤めがありますよ」

と、イオータはしきりに阿利田さんを寝床へと誘うのだが、阿利田さんはいつかな止めそうにないようだ。

内心では、やはり、この人も苛苛はしているようだ。去年の《血族》はかなりゆったりと組んだ活字で一冊の本だったんだが、《鬼が来た》はびっしりと小さな活字でしかも二段に組んであり、しかもしかも、上、下二巻本である。内容でいえば《血族》の四倍は優にあるような感じである。

初老にさしかかって老眼にでもなってしまったのかややこしい黒の部分が多い漢字に出くわすと近視の眼鏡をはずしたりしてかなり几帳面に阿利田さんは読みすすんでいるのだが、この調子では一日の欠勤だけではすまないのではないかとイオータは心配している。

そうでなくてもこの年配の人たちは危険なコーナーにさしかかっているのだ。ひょいと気がつけば、机が馬鹿に陽当りの良い場所に移されていたりして、《窓際族》なんてよばれている人が多い年配なのだ。